

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

問1 南アメリカのアンデス地方における食文化や農業の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 佐賀公立入試 類似)

1. 冷涼な高地という環境を活かし、じゃがいもの原産地として多様な品種を主食にしている。
2. 広大な平原を利用して、世界最大の輸出量を誇る小麦の単一栽培を行っている。
3. 降水量の多さを利用して、熱帯特有の作物であるサトウキビを主食として栽培している。
4. アジアから伝来した稲作が中心であり、大規模な灌漑施設を用いて米を生産している。

問2 南アメリカにおいて、ブラジルやアルゼンチンなどが中心となり、域内の経済的な結びつきを強め、関税の撤廃などを通じて経済成長を目指している地域統合体の名称として正しいものはどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)

1. MERCOSUR (南米南部共同市場)
2. ASEAN (東南アジア諸国連合)
3. EU (欧州連合)
4. NAFTA (北米自由貿易協定)

問3 ブラジルにおける1990年から2014年の統計において、森林面積が一貫して減少している一方で、牛肉の生産量は増加し続けているという対照的な状況が見られます。このように森林破壊が進んでいる主な背景として最も適切なものはどれですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)

1. 世界的な食肉需要の高まりに因應するため、森林を切り拓いて肉牛の牧場開発を進めているため
2. コーヒー豆の国際価格が上昇したため、栽培面積を拡大するために原生林の伐採を優先しているため
3. アマゾン川流域での大規模な焼畑農業によって、主食であるトウモロコシの自給率が急速に高めているため
4. 都市部の人口過密を解消するために、内陸部で大規模な住宅地建設と道路網の整備を優先しているため

問4 南アメリカ大陸の多くの国々では、現在もキリスト教のカトリックを信仰する人々が人口の大きな割合を占めています。このように、南アメリカで特定の宗教が広く普及した歴史的な背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 沖縄公立入試 類似)

1. かつてこの地域が、カトリックを国教としていたスペインやポルトガルの植民地となったため。
2. 古くからこの地域に栄えたインカ帝国などの文明が、独自の宗教としてカトリックを信仰していたため。
3. 19世紀以降に中東地域からの移民が急増したことで、イスラム教とともにカトリックが伝わったため。
4. 北アメリカから独立運動を支援するために派遣された宣教師が、プロテスタントとともに布教したため。

問5 ブラジルにおけるトウモロコシ生産の背景や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 大阪公立入試 類似)

1. セラードと呼ばれる広大な草原地帯の土地改良が進んだことで、大豆などとともに大規模な機械化農業が行われている。
2. 熱帯雨林の保護を最優先するため、トウモロコシの栽培は南部の冷涼な地域のみ限定されている。
3. アジア諸国からの移民によってもたらされた稲作技術を応用し、低湿地を中心に生産量を伸ばしている。
4. 生産されたトウモロコシのほとんどは、国内の食料自給率を向上させるために輸出が禁止されている。

問6 2020年の統計において、世界の州別の面積と人口の割合を比較すると、陸地面積は全体の約6.5%を占めている一方で、人口の割合は約0.6%と、世界の州の中で最も低くなっている州があります。この州の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 福岡県公立入試 類似)

1. アフリカ州
2. ヨーロッパ州
3. 南アメリカ州
4. オセアニア州

問7 オーストラリアなどの大規模な鉱山で見られる、地表から直接、鉱石をすり鉢状に削り取っていく採掘方法を何といいますか。 (2022年 滋賀公立入試 類似)

1. 露天掘り
2. 坑内掘り
3. 棚田
4. 輪作

問8 南アメリカ州の産業、特にブラジルの大豆栽培について述べた次の文のうち、1995年ごろから現代にかけての統計的な変化として正しいものはどれですか。 (2026年 静岡公立入試 類似)

1. 経営体数は減少したが、作付面積は大幅に増加した。
2. 経営体数も作付面積も、ともに大幅に増加した。
3. 経営体数は増加したが、作付面積は大幅に減少した。
4. 経営体数も作付面積も、ともに大幅に減少した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 冷涼な高地という環境を活かし、じゃがいもの原産地として多様な品種を主食にしている。	アンデス山脈周辺の国々では、高地の厳しい自然環境に対応するため、その土地が原産であるじゃがいもを中心とした食文化が築られました。地域によって異なる高度や気候に合わせて、数千種類にも及ぶじゃがいもが使い分けられており、アンデス地方の農業と生活を支える基盤となっています。
問2	答え 1 MERCOSUR（南米南部共同市場）	南アメリカの主要国であるブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイが、経済協力を通じて国際的な地位を高めるために結成した組織です。アルファベットの略称だけでなく、日本語の名称も問われることが多いためセットで覚える必要があります。
問3	答え 1 世界的な食肉需要の高まりに応えるため、森林を切り拓いて肉牛の牧場開発を進めているため	ブラジルではアマゾン川流域を中心に広大な熱帯林が広がっていますが、世界の食肉需要が増加したことに伴い、肉牛を飼育するための広大な牧場を確保しようとする動きが強まりました。この牧場開発を目的とした大規模な森林の伐採は、ブラジルにおける森林破壊の主要な原因となっており、地球温暖化の進行や生物多様性の喪失といった地球規模の環境問題を引き起こす要因として危惧されています。
問4	答え 1 かつてこの地域が、カトリックを国教としていたスペインやポルトガルの植民地となったため。	南アメリカの宗教分布は、16世紀以降の大航海時代におけるヨーロッパ諸国の進出と密接に関わっています。当時のブラジルはポルトガル、それ以外の地域の多くはスペインの植民地となりました。これらの宗主国がキリスト教のカトリックを熱心に布教したことが、現代においてもこの地域でカトリック信者が圧倒的に多い主要な理由です。
問5	答え 1 セラードと呼ばれる広大な草原地帯の土地改良が進んだことで、大豆などとともに大規模な機械化農業が行われている。	かつては酸性の強い土壌で農業に不向きとされたブラジル中西部の草原地帯「セラード」は、日本との協力などによる土地改良（土壌酸度の調整）を経て、世界的な穀物地帯へと生まれ変わりました。ここで生産されるトウモロコシは、ブラジルの主要な輸出農産物であるとともに、同国の肉類生産を支える飼料としても不可欠な存在となっています。
問6	答え 4 オセアニア州	オーストラリア大陸と太平洋の島々からなるこの地域は、広大な陸地面積を有していますが、その多くが乾燥帯の砂漠や厳しい自然環境であるため、居住に適した地域が限られています。その結果、アジア州やアフリカ州など他の州と比較して、世界全体に占める人口の割合が最も低いという特徴があります。
問7	答え 1 露天掘り	地表から直接削り取るこの方法は、地下にトンネルを掘る「坑内掘り」に比べて、大型の重機を投入しやすく大量の資源を効率的に採取できるという特徴があります。オーストラリアでは鉄鉱石や石炭の採掘において広く採用されています。
問8	答え 1 経営体数は減少したが、作付面積は大幅に増加した。	ブラジルの大豆農業は、1990年代後半から現在にかけて大きな構造変化を遂げました。機械化や資本の集中によって、小規模な農家が淘汰されたり吸収されたりして経営体数は減少傾向にあります。一方で国際的な需要の高まりを受けて未開墾地の開発や牧草地からの転換が進み、作付面積そのものは飛躍的に拡大しました。この「経営体数の減少と面積の増加」の組み合わせは、農業の近代化と大規模化を象徴する動きです。

問1 オーストラリアの自然環境と人口分布の関係について説明したものととして、最も適切なものはどれか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 広大な熱帯雨林が広がる内陸部を避け、冷涼な気候の北部に人口が集中している。
2. 国土の大部分が乾燥しているため、比較的降水量が多く気候が温暖な南東部に人口が集中している。
3. 内陸部は肥沃な温帯の平原だが、貿易の利便性を優先して西海岸の港町に人口が集中している。
4. 大陸全土に均等に雨が降るため、人口は特定の地域に偏らず全国に分散している。

問2 オーストラリアの輸出構造において、1960年代には羊毛や小麦などの農産物が大きな割合を占めていましたが、近年は鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が輸出の柱となっています。このような変化が起きた背景として最も適切な説明を選びなさい。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 日本や中国など、アジア諸国の経済発展と工業化に伴い、鉄鋼生産のための原料やエネルギー資源の需要が高まったため。
2. 世界的な異常気象によってオーストラリア全土で農業が衰退し、輸出できる農産物がほとんど生産できなくなったため。
3. アジア太平洋経済協力会議（APEC）の合意により、オーストラリアは農産物の輸出を禁止し、鉱山開発に専念することになったため。
4. ヨーロッパ諸国において羊毛製品の関税が大幅に引き上げられたため、輸出先をアジア向けの鉄鉱石に完全に切り替えたため。

問3 オーストラリアの産業について、広大な土地を活用して行われる農業と、地殻の安定した地域から産出される鉱産資源の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2014年 沖縄公立入試 類似）

1. 小麦と鉄鉱石
2. 茶と石炭
3. 綿花と銅
4. 天然ゴムとボーキサイト

問4 ボリビアのウユニ塩湖などで採取される「リチウム」が、現代社会においてその重要性を増している理由として、最も適切な背景はどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）

1. 世界的な環境意識の高まりにより、電気自動車（EV）やデジタル機器に欠かせない二次電池の需要が急速に拡大したため。
2. 鉄鉱石を精錬して鋼鉄を作る際に、石炭の代わりとなる燃料として利用されることが一般的になったため。
3. プラスチック製品の原料として石油に代わる安価な代替素材として、化学工業の分野で広く活用されるようになったため。
4. 情報通信技術の発展に伴い、光ファイバーのケーブルを製造するための主原料として大量に消費されるようになったため。

問5 オーストラリアの鉱産資源の分布と貿易に関する説明として、最も適切な記述はどれですか。産地と資源の種類の関係に着目して選びなさい。（2023年 三重公立入試 類似）

1. 大陸東部に産地が集中している石炭は、世界の輸出量において高い割合を占め、日本のエネルギー産業にとっても重要な資源となっている。
2. 大陸東部に分布する大規模な露天掘りの鉱山では、鉄鋼の原料となる鉄鉱石が採掘され、その多くが日本へ輸出されている。
3. 大陸西部の産地から輸出される石炭は、日本のアルミニウム工業を支える重要な原料として活用されている。
4. 大陸全体で均等に産出される石油は、オーストラリアの輸出額の過半数を占め、アジア諸国へ燃料として供給されている。

問6 オーストラリアの貿易構造の変化について、1960年には輸出総額の約26%をイギリスが占めていましたが、2020年の統計では中国が40%に達し、次いで日本や韓国が上位に入りました。このような輸出相手国の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）

1. 地理的に近いアジア諸国の経済発展に伴い、貿易の軸足がヨーロッパからアジアへと移り変わった。
2. イギリスの欧州連合（EU）離脱により、旧宗主国としての経済的結びつきが1960年当時よりも強まった。
3. アメリカ合衆国の経済成長に伴い、2020年時点ではアメリカが中国を抜いて最大の輸出相手国となった。
4. 南太平洋の島々との貿易を優先するため、アジア諸国への輸出割合を意図的に引き下げた。

問7 南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈の、標高4,000mを超える高地で見られる生活の特色として、最も適切なものはどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 温暖な気候を活かして、オリーブやブドウなどの果樹栽培が盛んに行われている。
2. 森林を焼き払って灰を肥料にする焼畑農業が行われ、主にキャッサバを栽培している。
3. 気温が低く農作物の栽培が難しいため、リャマやアルパカを飼育する放牧が行われている。
4. 広大な低湿地を干拓し、機械化された大規模な稲作によって米を生産している。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 国土の大部分が乾燥しているため、比較的降水量が多く気候が温暖な南東部に人口が集中している。	オーストラリアの地理的特徴として、回帰線が通る内陸部は降水量が極めて少なく、居住に不向きな乾燥帯（砂漠やステップ）が広がっていることが挙げられます。一方で、大陸の南東部は偏西風などの影響で適度な降水があり、人間が活動しやすい温帯の気候となっています。この気候条件の差が、特定の沿岸地域への極端な人口集中を招く要因となっています。
問2	答え 1 日本や中国など、アジア諸国の経済発展と工業化に伴い、鉄鋼生産のための原料やエネルギー資源の需要が高まったため。	オーストラリアの輸出構造の変化は、世界の需要の変化と密接に関係しています。高度経済成長期の日本や、その後の中国などのアジア諸国において、工業化が進み鉄鋼業などの重工業が発展しました。その際、鉄の原料となる鉄鉱石や、燃料・原料となる石炭の需要が急増したため、広大な土地に豊富な資源を持つオーストラリアからの輸出が拡大しました。
問3	答え 1 小麦と鉄鉱石	オーストラリアは広大な国土と乾燥した気候に適応した大規模な農業が行われており、世界有数の小麦輸出国です。また、地質学的に安定した古い大地から鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が豊富に採掘され、日本をはじめとする諸外国へ輸出されています。茶や綿花はオーストラリアの代表的な輸作物とは言えません。
問4	答え 1 世界的な環境意識の高まりにより、電気自動車（EV）やデジタル機器に欠かせない二次電池の需要が急速に拡大したため。	リチウムはリチウムイオン電池（二次電池）の主原料であり、近年のスマートフォンやノートパソコンの普及、さらには脱炭素社会に向けた電気自動車（EV）へのシフトによって、その希少価値と需要が世界的に急増しています。ボリビアは世界有数のリチウム埋蔵量を誇るため、銀などの伝統的な鉱物資源に代わる新たな国家経済の柱として期待されています。
問5	答え 1 大陸東部に産地が集中している石炭は、世界の輸出量において高い割合を占め、日本のエネルギー産業にとっても重要な資源となっている。	オーストラリアの主要資源である石炭と鉄鉱石は、産地が明確に分かれています。東部の古期造山帯付近では石炭、北西部の安定陸塊では鉄鉱石の産出が盛んです。石炭は燃料や製鉄用として、鉄鉱石は製鉄の原料として、それぞれ日本をはじめとする世界各国へ大量に輸出されています。地形（地質構造）と資源の分布を関連付けて理解することが重要です。
問6	答え 1 地理的に近いアジア諸国の経済発展に伴い、貿易の軸足がヨーロッパからアジアへと移り変わった。	オーストラリアはかつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、1960年当時はイギリスをはじめとするヨーロッパ諸国との貿易が中心でした。しかし、イギリスが当時の欧州共同体（EC）に加盟したことで関係が変化したほか、地理的に近い日本や中国などのアジア諸国が急速な経済成長を遂げ、鉄鉱石や石炭などの資源需要が高まったため、輸出相手国がアジア中心へと大きくシフトしました。
問7	答え 3 気温が低く農作物の栽培が難しいため、リャマやアルパカを飼育する放牧が行われている。	アンデス山脈の高地は標高が高いために気温が低く、一般的な農作物の栽培には適していません。そのため、厳しい環境でも適応できるリャマやアルパカなどの家畜を飼育し、その毛を衣類に、肉を食用に、また荷物の運搬などに利用して生活を営んでいます。オリーブは地中海性気候、焼畑農業は熱帯、稲作は温暖で水が得やすい地域の特徴です。

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/9

問1 イギリス主導で開発が進められてきたオーストラリアにおいて、近年の社会のあり方や先住民への対応について述べたものとして正しいものを選びなさい。（2026年 愛媛公立入試 類似）

- かつての白豪主義（白人優先政策）を反省し、先住民アボリジニの権利や文化を尊重する多文化社会を目指している。
- イギリス本国の意向により、現在もヨーロッパ系以外の移民を受け入れない政策を厳格に維持している。
- 先住民の伝統文化を否定し、すべての住民にイギリス式の生活様式を強制する法律を制定している。
- 経済発展を優先するため、先住民が聖地とする場所での鉱山開発を無制限に認めている。

問2 2011年の統計において、世界全体の産出量のうち中国が約30%、オーストラリアが約20%、ブラジルが約18%を占めている鉱産資源があります。ブラジル北部のカラジャスなどで大規模に採掘され、鉄鋼業の重要な原料となるこの資源の名称として適切なものはどれですか。（2015年 佐賀公立入試 類似）

- 鉄鉱石
- 原油
- 銅
- 石炭

問3 南アメリカ州の環境問題と農業の関係について述べた文として、正しいものはどれですか。（2018年 富山県公立入試 類似）

- ブラジルでは大豆などの生産を優先し、農地面積の増加に伴って森林面積が減少している
- ブラジルでは環境保護のために農地を森林に戻しており、農地面積が減少している
- アマゾン川流域では砂漠の緑化が進んだ結果、農地面積と森林面積が共に増加している
- ブラジルでは海面の干拓によって農地を確保しているため、内陸の森林面積に変化はない

問4 シドニーの降水量の特徴について述べた文として、正しいものを選択してください。なお、シドニーの年間降水量は約1000ミリメートル弱であり、気温は7月頃に最も低く、1月頃に最も高くなります。（2023年 鳥取公立入試 類似）

- 南半球の夏にあたる1月前後を含め、各月に平均的な降水が見られる。
- 夏にあたる1月頃は気温が高く、降水量がほとんどゼロになる乾季となる。
- 冬にあたる7月頃に降水が集中し、それ以外の季節は非常に乾燥する。
- 一年を通じて降水量が極端に少なく、わずかな降水が冬にのみ見られる。

問5 日本とオーストラリアの貿易関係について述べた次の文のうち、2016年の統計において日本への輸入品目の上位3位までを占める、エネルギー資源および鉱物資源の組み合わせとして正しいものはどれですか。なお、これらの3品目でオーストラリアからの輸入総額の半分以上を占めています。（2018年 福島県公立入試 類似）

- 石炭・液化天然ガス・鉄鉱石
- 原油・鉄鉱石・銅鉱
- 石炭・原油・小麦
- 液化天然ガス・羊毛・肉類

問6 かつてイギリスの植民地であり、白人以外の移民を制限する「白豪主義」をとっていた国が、1970年代までに多様な民族の文化を尊重し共生を目指す方針へと転換しました。この現在の政策を何といいますか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

- 多文化主義
- アパルトヘイト
- 白豪主義
- 同化政策

問7 日本と、赤道が通過するブラジルなどの南アメリカの国々との間で、時差が約12時間と最大級になる理由を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2019年 福岡県公立入試 類似）

- 日本と経度が約180度離れており、地球のほぼ反対側に位置しているため
- 赤道付近は緯度が低く、日本よりも自転の速度が速いため
- 日本は北半球にあり、南アメリカの多くは南半球にあって季節が逆になるため
- 日付変更線を西から東へ越えることで、時刻が1日進むため

問8 南アメリカ大陸に位置するブラジルの農業において、広大な土地を利用した「大規模な機械化」が進んだ結果、近年輸出額が急増し、世界的な産地となっている農産物はどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）

- 大豆
- 天然ゴム
- カカオ
- 茶

問9 イギリスの地理的条件について、緯度や気候の観点から日本と比較して説明した文として、適切なものを選択してください。

（2024年 福井公立入試 類似）

- イギリスの緯度は日本の北海道よりも高い位置にあるが、北大西洋海流という暖流と偏西風の影響により、冬でも比較的温暖な気候である。
- イギリスは日本よりも低緯度の熱帯付近に位置しているため、偏西風の影響を強く受けるものの、一年を通じて極めて高温多湿である。
- イギリスの緯度は北海道とほぼ同じであるが、北極圏から流れてくる寒流の影響を直接受けるため、日本よりも冬の寒さが格段に厳しい。
- イギリスは日本と同様の島国であるが、面積は日本の約20倍と非常に広く、緯度にかかわらず国内で大きな気温差が生じている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 かつての白豪主義（白人優先政策）を反省し、先住民アボリジニの権利や文化を尊重する多文化社会を目指している。	1970年代までに、白人以外の移民を制限する「白豪主義」が撤廃されました。現在は、先住民であるアボリジニの伝統的な土地権利を認める判決や、過去の政策に対する政府の謝罪が行われるなど、多様な文化を互いに認め合う多文化主義（多文化社会）への転換が進んでいます。
問2	答え 1 鉄鉱石	ブラジルは世界有数の鉄鉱石の産地であり、特にアマゾン川流域に近い北部に位置するカラジャスは、世界最大級の鉄鉱石の採掘地として知られています。2011年時点の統計では、中国、オーストラリアに次いで世界第3位の産出量を誇っており、インドやロシアとともに世界市場において重要な役割を果たしています。
問3	答え 1 ブラジルでは大豆などの生産を優先し、農地面積の増加に伴って森林面積が減少している	ブラジルにおける土地利用の変化は、農業生産の拡大と密接に関わっています。統計データを見ると、大豆やとうもろこしの栽培面積（農地面積）が拡大する一方で、それまで森林であった場所が農地に作り替えられているため、森林面積は一貫して減少傾向にあります。この「森林の農地転換」は、南アメリカ州を代表する環境問題の一つです。
問4	答え 1 南半球の夏にあたる1月前後を含め、各月に平均的な降水が見られる。	シドニーが属する温暖湿潤気候は、季節による降水量の偏りが少なく、一年を通じて平均的に雨が降ることが大きな特徴です。オーストラリア南部で見られる地中海性気候（夏に乾燥する）や、内陸部の乾燥帯（雨が極めて少ない）とは、この「年間を通じて安定した降水がある」という点で明確に区別されます。
問5	答え 1 石炭・液化天然ガス・鉄鉱石	オーストラリアは広大な国土に豊富な鉱物資源を有しており、日本にとって最大の資源供給国の一つです。2016年の統計では、発電や製鉄の原料となる石炭が第1位、次いで火力発電の燃料となる液化天然ガス（LNG）が第2位、鉄鋼業に欠かせない鉄鉱石が第3位となっており、これら上位3品目だけで日本のエネルギーや重工業を支える重要な役割を果たしています。
問6	答え 1 多文化主義	1901年の連邦成立以来、オーストラリアでは白人以外の移民を制限する「白豪主義」がとられていました。しかし、第二次世界大戦後の国際情勢の変化や労働力不足の解消、地理的に近いアジア諸国との結びつきを重視する必要から、1970年代までにこの政策は廃止されました。現在は、多様な民族がそれぞれの伝統文化を維持しながら共生する社会を目指しています。
問7	答え 1 日本と経度が約180度離れており、地球のほぼ反対側に位置しているため	時差は経度の差によって決まる。地球は24時間で360度自転するため、1時間につき15度の時差が生じる。日本（東経135度）と12時間の時差がある場所は、15度×12時間＝180度の経度差がある地点であり、これは地球の真裏（西経45度付近）に相当する。南アメリカ大陸のブラジルなどはこの経度帯に位置し、かつ赤道が通過しているため、条件に合致する。
問8	答え 1 大豆	ブラジルでは、かつてのコーヒーモノカルチャー経済からの脱却を図るため、内陸部の未開発地域であったセラード（草原地帯）などの開発を進めました。そこで導入されたのが大規模な機械化農業であり、現在ではアメリカ合衆国と並ぶ世界最大級の大豆生産・輸出拠点となっています。天然ゴムはアマゾン川流域で過去に栄えた産業、カカオは西アフリカなどで盛んな作物です。
問9	答え 1 イギリスの緯度は日本の北海道よりも高い位置にあるが、北大西洋海流という暖流と偏西風の影響により、冬でも比較的温暖的な気候である。	イギリス（ロンドンなど）は、日本の最北端である北海道よりも高緯度に位置しています。しかし、周辺の海域を暖流の「北大西洋海流」が流れており、その上の温まった空気が「偏西風」によって運ばれてくるため、高緯度のわりに冬の寒さは厳しくなく、西岸海洋性気候に属する温暖的な気候となっています。

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

問1 オーストラリアでは、1970年代までヨーロッパ系の白人以外の移民を制限する政策がとられていました。その後、この政策を廃止して多様な民族が共存する社会へと移行した背景や目的を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。（2015年 佐賀公立

入試 類似）

1. 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきを重視し、多様な人々を受け入れることで国を活性化させるため。
2. イギリスとの伝統的な関係をより強固にするために、ヨーロッパ系住民の割合をさらに増やす必要があったため。
3. 人口過密を解消するために、先住民であるアボリジニーを海外の島々へ移住させる政策を優先したため。
4. 資源の枯渇を防ぐために、国内の消費を抑える目的で全ての国からの移民を完全に禁止することにしたため。

問2 カナダ、ブラジル、アルゼンチンの3カ国の農業統計を比較した際、アルゼンチンに見られる特徴として、広大な草原地帯である「パンパ」の存在が大きく影響しています。この地域に関する記述として正しいものを選びなさい。（2025年 兵庫公立入試 類似）

1. アマゾン川流域の熱帯雨林（セルバ）を切り拓いて作られた、世界最大のコーヒー豆栽培地である。
2. 寒冷な気候のため農作物の栽培には適さないが、地下資源が豊富で鉱工業が中心となっている。
3. 温帯の広大な草原を活用し、古くから小麦の栽培や牛肉の生産が盛んで、世界への輸出拠点となっている。
4. ブラジル高原の赤土（テラローシャ）を利用し、近現代に入ってから大豆の生産量が急増した地域である。

問3 オーストラリアの貿易統計において、輸出額の推移をみると、20世紀半ばまでは農産物が中心でしたが、現在は特定の資源が輸出の大部分を占めています。その資源の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2021年 岐阜公立入試 類似）

1. 鉄鉱石・石炭
2. 石油・天然ガス
3. 羊毛・小麦
4. 銅鉱・アルミニウム

問4 ある地点の年間を通じた気温の変化を調べたところ、7月頃に最も気温が低くなり、1月頃に最も気温が高くなるという北半球とは逆の傾向が見られました。このような季節の変化が見られるオーストラリアの地理的条件として適切なものを選びなさい。（2019年 愛知公立入試 類似）

1. 東経135度の標準時子午線が通っていること
2. 赤道よりも南側の南半球に位置していること
3. 日本のほぼ真南に位置しており、時差が少ないこと
4. 周囲を太平洋とインド洋に囲まれた島国であること

問5 1975年から2015年までのブラジルからの輸入総額の推移について、5年ごとの統計値を比較した際の特徴として正しいものはどれですか。（2021年 北海道公立入試 類似）

1. 5年前と比較して輸入総額が増加したのは、期間中に4度である。
2. 5年前と比較して輸入総額が減少したのは、期間中に3度である。
3. 輸入総額が最も多い年の金額は、1990年の輸入総額の3倍に達している。
4. 輸入総額が最も少ない年の金額は、2005年の輸入総額の半分以下である。

問6 南アメリカ大陸の北部、赤道付近を流れる河川のうち、支流を含めた水の集まる範囲である流域面積が世界最大である河川として正しいものはどれですか。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. アマゾン川
2. ナイル川
3. ミシシッピ川
4. ライン川

問7 日本の東京を通る経線と、世界の大陸の位置関係について述べた文として、正しいものはどれですか。（2022年 静岡公立入試 類似）

1. 東京を通る経線を南にたどると、南半球にあるオーストラリア大陸を通過する。
2. 東京を通る経線は、大西洋を南北に貫き、アフリカ大陸の西側に位置している。
3. 東京から真南に進むと、赤道を通過する前にユーラシア大陸の最南端に到達する。
4. 東京とオーストラリア大陸は経度が大きく異なるため、地図上では真南に位置しない。

問8 南アメリカ大陸のアンデス山脈周辺などの高地において、アルパカの毛を編んで作られたポンチョや、耳まで覆うことができる帽子が伝統的に着用されている理由として、最も適切なものはどれですか。（2019年 富山県公立入試 類似）

1. 標高が高く、寒さが厳しいとともに紫外線が強いため
2. 砂漠地帯で風が強く、砂ほこりが目や口に入るのを防ぐため
3. 熱帯雨林特有の激しい降雨から身を守り、湿度による体温上昇を防ぐため
4. 地中海性気候における夏季の乾燥した強い日差しを遮るため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきを重視し、多様な人々を受け入れることで国を活性化させるため。	オーストラリアが「白豪主義」を廃止した背景には、地理的に近いアジア諸国との経済交流を深める必要性が高まったことや、労働力を確保して国を発展させるために、多様なバックグラウンドを持つ移民を受け入れる方針へ転換したことがあります。これにより、現在はアジア系移民も多く、多文化社会として互いの文化を尊重する仕組みが整えられています。
問2	答え 3 温帯の広大な草原を活用し、古くから小麦の栽培や牛肉の生産が盛んで、世界への輸出拠点となっている。	アルゼンチンの農業を象徴するパンパは、カナダやブラジルといった他の農業大国と比較しても、温帯気候における大規模な穀物栽培と牧畜の両立が際立った特徴です。ブラジルが大豆（特に熱帯地域での拡大）やコーヒーに強みを持つのに対し、アルゼンチンはパンパの肥沃な土地を活かした小麦と、冷凍船の発明以降に飛躍的に輸出が伸びた牛肉の生産で知られています。選択肢にある「セルバ」はアマゾン川流域の熱帯雨林を指す用語であり、パンパとは性質が異なります。
問3	答え 1 鉄鉱石・石炭	オーストラリアの輸出品目は、かつてはイギリス向けの羊毛や小麦が主流でしたが、1960年代以降の日本の高度経済成長や、近年の中国の急速な工業化に伴い、鉱産資源の輸出が急増しました。現在は露天掘りなどで大規模に採掘される鉄鉱石や、発電や製鉄に利用される石炭が輸出の大きな柱となっています。
問4	答え 2 赤道よりも南側の南半球に位置していること	地球は地軸を傾けた状態で公転しているため、赤道を境にして北半球と南半球では季節が逆になります。オーストラリアは南半球に位置するため、日本が夏である7月頃に冬（低気温）となり、日本が冬である1月頃に夏（高気温）を迎えるという特徴的な季節変化を示します。
問5	答え 1 5年前と比較して輸入総額が増加したのは、期間中に4度である。	1975年から2015年までの推移において、5年前の数値と比較して輸入総額が増加したのは、1975年→80年、1985年→90年、2000年→05年、2005年→10年の合計4度です。1990年から2000年にかけては数値が減少している時期もあり、全ての調査時点で増加しているわけではない点に注意が必要です。
問6	答え 1 アマゾン川	南アメリカ大陸を流れるこの河川は、長さではアフリカ大陸のナイル川に次ぐ世界第2位とされることが多いですが、流域面積（川に水が流れ込む範囲の面積）においては世界で最も大きな規模を持っています。熱帯の多雨地域を流れるため、膨大な水量を誇るのが特徴です。
問7	答え 1 東京を通る経線を南にたどると、南半球にあるオーストラリア大陸を通過する。	世界地図において、日本の東京（東経約140度）から垂直に南下する線は、オーストラリア大陸の西側を通ります。日本とオーストラリアは経度が近いこと、時差が少ないという特徴もこの位置関係に由来しています。他の選択肢にあるアフリカ大陸や北アメリカ大陸は、日本とは経度が大きく離れた場所に位置しています。
問8	答え 1 標高が高く、寒さが厳しいとともに紫外線が強いいため	アンデス山脈のような高山地域は、標高が高いために気温が低く、また空気が薄いため地表に届く紫外線が非常に強いという過酷な自然環境にあります。アルパカの毛は保温性に優れており、防寒具として非常に適しています。また、つばのついた帽子や耳まで覆う帽子を着用することで、寒さから身を守るだけでなく、強い日差し（紫外線）による肌へのダメージを防ぐ工夫がなされています。

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

問1 オーストラリアの貿易統計において、1960年時点で輸出額の約3割を占めて最大だった国と、2013年時点で約27%を占めて最大となっている国を正しく組み合わせたものはどれですか。（2021年 沖縄公立入試 類似）

1. 1960年：イギリス、2013年：中国
2. 1960年：アメリカ合衆国、2013年：日本
3. 1960年：イギリス、2013年：インド
4. 1960年：日本、2013年：アメリカ合衆国

問2 オーストラリア大陸の内陸部、アリススプリングスの近郊に位置する「ウルル（エアーズロック）」に関する説明として正しいものはどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

1. 先住民であるアボリジニの聖地として知られている。
2. ニューージーランドの先住民であるマオリが儀式を行う場所である。
3. 寒冷な気候に適応したイヌイットが生活の拠点とした岩山である。
4. スペイン語を話すヒスパニックの入植によって開拓された聖地である。

問3 オーストラリアでは茶の生産はあまり行われていませんが、日常生活の中で紅茶を好んで飲む文化が広く定着しています。このように、オーストラリアの食文化に大きな影響を与え、かつてこの地を植民地として支配していた国はどこですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. イギリス
2. フランス
3. アメリカ合衆国
4. オランダ

問4 オーストラリア大陸に古くから居住している先住民で、地面に置いたキャンバスに細かな点を用いて描く独自の芸術文化を継承している人々を何といいますか。（2023年 北海道公立入試 類似）

1. アボリジニ
2. マオリ
3. イヌイット
4. アイヌ

問5 近代的な高層住宅が立ち並ぶ景観のすぐ隣に、ゲルなどの伝統的な組み立て式テントが密集した居住地区が広がるなど、発展途上国の都市部で生じている現象とその背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2025年 山梨公立入試 類似）

1. 社会の変化にともない、もともと遊牧などの移動生活を送っていた人々が都市部へ流入して人口が集中したが、住宅供給が追いつかずスラムが形成されている。
2. 政府による工業化政策の結果、都市部に定住する人々が増加し、伝統的な住居を観光資源として保存する計画的な街づくりが行われている。
3. 農業の機械化によって労働力が不足したため、周辺諸国から遊牧民を労働者として受け入れるための仮設住宅が都市近郊に建設されている。
4. 先進国からの技術援助によって都市化が進んだことで、伝統的な生活を維持しながら高度な情報通信設備を利用する新しい生活形態が普及している。

問6 ブラジルの発電電力量の内訳について、水力が64.1%と大半を占める一方で、生物資源を原料とするエネルギーも8.7%利用されています。また、ブラジルではサトウキビの生産量が砂糖の生産量を大きく上回るペースで増加していますが、その主な背景として適切なものはどれですか。（2022年 山口公立入試 類似）

1. 自動車の燃料などに利用されるバイオエタノールの原料としての需要が高まったため
2. サトウキビをそのまま燃焼させて直接電力を得る地熱発電の技術が普及したため
3. 家畜の飼料として輸出するためのサトウキビ栽培が、砂糖用よりも収益性が高くなったため
4. サトウキビの絞りかすを加工して、風力発電のプロペラ部分を作る材料にするため

問7 ある国について、人口が約3815万人で、1平方キロメートルあたりの人口密度が約4人と極めて低いという特徴があります。また、日本への主な輸出品目として、なたねが10.4%、鉄鉱石が9.2%、豚肉が8.4%を占めているこの国はどこですか。（2024年 高知公立入試 類似）

1. オーストラリア
2. カナダ
3. ブラジル
4. ロシア

問8 南アメリカ州のブラジルでは、世界的な需要の高まりに応えるために畜産業が盛んに行われていますが、これに伴う環境への影響が議論されています。生産されている家畜と、それに関連して発生している課題の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 牛：放牧地の確保を目的とした熱帯林の伐採
2. 豚：冷涼な気候に適応させるための森林の伐採
3. 羊：乾燥地での過放牧による砂漠化の進行
4. ヤギ：高地での飼育に伴う土壌浸食の発生

答え合わせ・解説

問1	答え 1 1960年：イギリス、2013年：中国	オーストラリアはかつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、1960年代までは宗主国であるイギリスとの貿易が中心でした。しかし、その後イギリスがヨーロッパの経済統合（ECへの加盟）を優先したことや、アジア諸国の経済発展に伴い、貿易相手はアジアへと移行しました。現在では、鉄鉱石や石炭などの資源を大量に輸出している中国が最大の貿易相手国となっています。
問2	答え 1 先住民であるアボリジニの聖地として知られている。	オーストラリア大陸のほぼ中央に位置するウルル（エアーズロック）は、世界最大級の一枚岩であり、先住民アボリジニの聖地となっています。現在は、アボリジニの意向を尊重して登山が禁止されるなど、彼らの文化や信仰を守る取り組みが行われています。
問3	答え 1 イギリス	オーストラリアは18世紀後半からイギリスの植民地となった歴史があり、その過程で多くのイギリス系移民が移り住みました。そのため、言語（英語）や政治制度だけでなく、紅茶を飲む習慣やスポーツ（クリケットなど）といった生活文化の面でも、宗主国であるイギリスの影響を強く受けています。
問4	答え 1 アボリジニ	オーストラリア大陸の先住民はアボリジニと呼ばれます。彼らは自然界の万物に精霊が宿るといふ独自の信仰を持ち、砂絵や岩壁画、そして点描（ドット・ペインティング）などの伝統芸術を現代に伝えています。ニュージーランドの先住民であるマオリと混同しないよう注意が必要です。
問5	答え 1 社会の変化にともない、もともと遊牧などの移動生活を送っていた人々が都市部へ流入して人口が集中したが、住宅供給が追いつかずスラムが形成されている。	発展途上国では、経済成長や社会構造の変化により、農村部や遊牧地から都市部へと急激に人口が移動する「都市化」が進んでいます。しかし、都市側のインフラ整備や住宅供給がそのスピードに追いつかないため、流入した人々が居住環境の不十分な場所に伝統的な住居や簡易的な小屋を建てて住み着くことで、スラムが形成されるという課題が生じています。選択肢にある「工業化」や「定住」は、この現象の直接的な結果や背景の説明としては不適切です。
問6	答え 1 自動車の燃料などに利用されるバイオエタノールの原料としての需要が高まったため	ブラジルでは豊富な水資源を利用した水力発電が主流ですが、同時にサトウキビなどの生物資源を原料とするエネルギー活用も盛んです。サトウキビは食用の砂糖の原料になるだけでなく、発酵させてバイオエタノールという燃料に加工されます。これが自動車の燃料や発電に利用されるようになったため、サトウキビの生産量は砂糖の生産を上回るペースで増加しています。このように生物資源を源とするエネルギーは再生可能エネルギーの一つとして重要視されています。
問7	答え 1 オーストラリア	広大な国土に対して人口が比較的小さいため、人口密度が1平方キロメートルあたり4人と非常に低くなっているのが特徴です。豊かな鉱産資源や、広大な土地を活用した農畜産業が盛んで、日本へは鉄鉱石やなたね、豚肉などを多く輸出しています。
問8	答え 1 牛：放牧地の確保を目的とした熱帯林の伐採	ブラジルにおける開発と環境保護の対立は、地理学習において非常に重要なテーマです。世界第2位の生産量を誇る「牛」の生産を支えるため、もともと森林であった場所が「牧場」へと作り替えられており、これが「熱帯林の減少」の直接的な原因となっています。選択肢にある豚や羊、ヤギは、ブラジルの森林減少における主因とはなっていません。